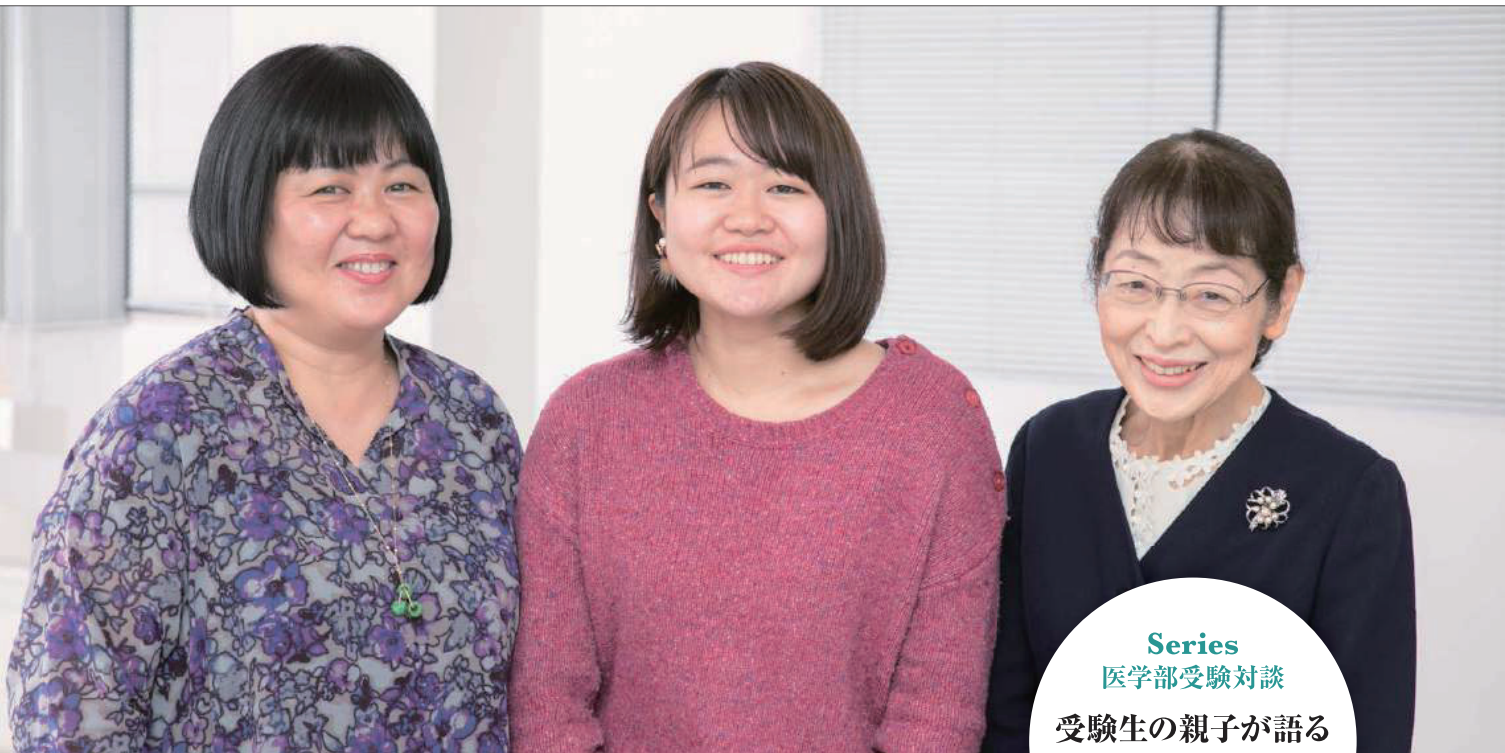




Series
医学部受験対談

受験生の親子が語る
医学部
合格体験

国立か私立か早い時点で決断し、 そのための勉強を1日でも早く スタートさせたことが良かったと思っています。

「医学部受験で国立大医学部と私立医大の両立は本当に難しいと思います。早い時点でどちらかに絞り込み、そのための勉強を1日でも早くスタートさせるべきです。私は娘を4月からではなく3月から予備校に入学させました。その1ヶ月がとても大きな意味を持ちました。早くスタートさせて本当に良かったと思っています。」と、母親の具志堅良子氏は語ります。

具志堅良子氏とメデューカパスの田村校長に、ご本人の具志堅ゆりかさんを交えた鼎談形式で私立医学部受験を振り返って頂きました。

激励されて頑張り抜いた、 忍耐の1年間

田村氏 ゆりかさんの医学部受験を振り返られてどのような感想をお持ちですか。

具志堅氏 初めての経験でしたが、娘の医学部受験を一言で表せば忍耐です。親の私たちにとって、本人にとっても辛抱だったと思います。

いくら頑張っても、簡単に結果に結びつくものではないし、しかし結果が出ないからといって諦めることもできないから、辛抱して日々コツコツと努力しなければならぬ。

努力の結果が明確に見えるわけではないので、本当に耐え忍ぶという感じでした。

ゆりかさん 私にとってもそうでした。苦しい時もありましたが、それでも校長先生や多くの先生から、「自分を信じて、このまま頑張れば必ず合格できる。」と激励されて、よし頑張るぞ。頑張るぞ。という感じで1年間過ごせたことが良かったと思っています。

資格を持って 仕事に頑張っている女性の姿は とても素晴らしいと思います。

田村氏 ゆりかさんは、何歳ころから医学部を目指されたのですか。

ゆりかさん 医学部に行こうと思ったのは、小学校の頃でした。父親が医師ということもあり、小学生の頃から、大きくなったら自分はお医者さんになるのかなあ、と漠然と思っていたような感じです。正直に言いますと、母親の洗脳もあったかもしれません（笑）。

それと高校の友人に医師を目指す人が多かったこともあります。

具志堅氏 以前から私は、資格を持って仕事に頑張っている女性の姿はとても素晴らしいと思っていました。

特に、自分のスタイルでできる医師の仕事は娘に向いているのではと思っていましたので、ゆりかが小さい頃からそんな話はしていました。

現役時代は合格への道筋が全く 見えていませんでした。

具志堅氏 現役の時には、医学部合格

の道筋が全く見えていませんでした。

沖縄の受験事情と特殊性かもしれませんが、いまだに国立医学部に比べれば私立医学部は易しいという認識があるようで、娘の高校でも国立大学に対応した受験対策が中心で、全員がセンター試験のための受験勉強をしていました。ですから、私大医学部の受験対策や指導はほとんど受けていませんでした。

私は、高校生の時に適切な指導の下で、私立医学部に対応した受験勉強ができていたら、娘は現役で合格できていたかもしれないと思っています。

ゆりかさん 私が医大医学部受験のための勉強を本格的に始めたのは、メデュカパスに入学してからです。

現役の時は、センター試験の勉強でした。それでも、私立はたくさん受験できるから、どこかに受かるだろうと思って受験しましたが、どこにも合格できませんでした。

メデュカパスでの勉強は、最初から昭和大学に行きたいと決めていたので、昭和大学合格のための受験勉強をすればよかった。

現役の時の、どこをどう勉強すればいいのか分からなかったのとは違い、合格するための道筋が見えたから、一生懸命に頑張りました。

合格の秘訣は、決断は早く、スタートも早く、だと思えます。

具志堅氏 受験経験のある先輩のお母さんから、医学部受験では国立を目指すのか、私立を目指すのか、どちらか

一方に決めることが重要で、両立させるのはとても難しい、とアドバイスされました。

そこで、私たちは早い時期に私立医学部に絞った受験を決め、受験勉強も早くスタートすること、4月を待たず3月からメデュカパスに入学しました。

先が決まっているのなら早く決めるべきで、予備校にも早く入学すべきだと思ったからです。振り返ってみるとそれがとても良かったと思います。

ゆりかさん 実は私は、受験も終わりの4月に予備校が始まるまでの間の1か月間は、目いっぱい地元で遊ぶつもりでいました(笑)。

でも母から言われて3月から入学しましたが、その1ヶ月の準備期間で自分の実力が把握でき、受験勉強をスタートする準備ができました。

準備不足のまま授業が始まると追いついていくのに苦勞しますから、あの1ヶ月は本当に良かったと思います。たった1ヶ月の差ですが全然違いました。

**予備校を選ぶときには
寮と食事重視しました。**

具志堅氏 合格率や授業内容は当然として、予備校を選ぶときに重視したのは寮と食事でした。

受験勉強のために上京するのですから、安心して静かに勉強できる住環境が何よりも大切です。地元の受験経験者の知人からは、予備校の食事の大切さをアドバイスされました。

この点でも、メデュカパスさんは安心して子供を預けられると感じました。

田村氏 地方出身の生徒さんは、全員学生寮に入って頂いています。都内の生徒さんの中にも寮に入っている人がいます。

学生寮は、予備校から近くの閑静な場所にありセキュリティも万全で、勉強に専念し、休息も十分にとれるということでは受験勉強に一番良い生活環境だと思います。

朝8時の朝食から1日が始まり、夜は21時まで予備校で勉強します。

ゆりかさん 寮生活での1年間は、規則正しい生活で勉強に専念できました。テレビもパソコンもありませんから、

朝起きたら身支度をして登校し、学校で夜遅くまで勉強し、寮に帰ったら寝るだけという、ひたすら勉強漬けの生活でした。そんな生活の中で唯一の娯楽が新聞を読むことでした。

ただ朝が弱くて、予備校のスタッフからよく電話で起こされたこともありました。

田村氏 食事は、毎日、学生食堂で規則正しく朝食と夕食をとっていただきます。

私どもでは、適切な食生活を送る事は学習環境の一環と考えていますので、経験豊かな調理師と管理栄養士の指導で、家庭の手料理

を思わせる美味しい「栄養バランスの取れた食事」を提供しています。

**毎週の報告レポートで
娘の状況が手に取るように
把握できました。**

具志堅氏 私は、子どもたちに対して、本人がしたいようにさせてやるということが一番大切にしてきました。本人が納得しないと、何事も前には進めなと思っています。

東京で浪人することを決めたのも本人ですし、メデュカパスさんに決めたのも本人です。

私が一番心配したのは、勉強の進捗でした。東京と沖縄ではそう簡単に行き来できませんから、毎週送られてくる報告はとても助かりました。成績はもちろんのこと、寮での生活状態や、



田村 和香氏 メデュカパス 校長 英語講師

東京女子大学文理学部英米文学科卒、元両国予備校講師

受験予備校の講師歴24年間のうち14年間に両国予備校の講師として、偏差値50前後で入学した受験生を、それぞれの志望大学に多数合格させてきた。受験生をより良き方向へと導くことを一生の仕事として、受験指導に情熱を注いでいる。



具志堅 良子氏（母親）

食事の状況など、本当にきめ細かな報告で、娘の状況が手に取るように把握できました。

田村氏 私どもでは、生徒さんの1週間の出席状況、1日の勉強時間、学習成績、食事の状況、健康状況などの詳細な報告を毎週、親御様にお送りしています。

お預かりしている生徒さんの健康管理にも気を配り、月に1〜2回スタッフが寮を訪れ生活状況を確認しますし、病気になる時には様子を見に行ったりお薬を届けたりして、万全なサポートで生徒さんをお預かりしていますので、親御様にも安心して頂いています。

初志貫徹して、 昭和大学に合格しました。

田村氏 ゆりかさんは、入学当初から昭和大学に目標を定めていまして、絶対に昭和に合格すると言い続け、最後までそれを貫き通しました。とても素

晴らしいことです。

それと、すごく几帳面な性格で、自分の学習計画を立てていました。

ある時に、自ら作った学習進捗予定表を持ってきました、今ここで行き詰っているのですが、どうしたら良いでしょうかと、私に相談してきました。

自ら学習進捗予定を作って学習計画を立てている姿に驚きました。しかもその予定表が非常によくできているのです。いろいろな生活のルールも几帳面に守っていました。

成績も良くて、毎週トップスリーに入っていました。私やほかの先生たちの印象も、ゆりかさんは常に良い成績だった記憶があります。

ゆりかさん 前期は良かったのですが、後期はスランプに陥り、精神的にとてもしつくて、随分苦しかった記憶があります。

具志堅氏 前期が順調だったので、後期も成績が伸びていくだろうという油

断があったのでしよう。しっかり立てた目標や計画が予定通りにいかないと、落ち込んで引きずってしまう傾向が娘にはあります。

ゆりかさん そうですね。母親の言う通りです（笑）。結局そのまま入試本番に突入してしまい、入試の前半戦は全滅してしまいました。後半戦で、第一志望の昭和大学に合格できました。

すきまの時間を無駄にせず 活用して勉強していました。

田村氏 ゆりかさんは、勉強の仕方もう工夫していました。

如何にしたら最も効果が上がるかと考えて、日常生活の中で、視覚、聴覚を活用した自分なりの勉強法を実践していましたね。

ゆりかさん 物理の先生から、自分に必要な睡眠時間はしっかり眠ること。その代わりに起きている時間は全部勉強に使いなさいと言われたので、その通りに実行しようと思いました。

そこで、生活の中のすきま時間を無駄にせずフルに活用するようにして、苦手なところを一つ一つ確実に潰していくようにしました。

洗濯物を干す時や食器を洗う時はウォークマンで英文を聴きながら、ヘッドライヤーをかける時は英単語カードをめくりながら、食事の時には化学の資料集をマーカーチェックしながら、カレンダーの裏紙には苦手な英文を転記して部屋の中やトイレに貼るとか、とにかく聴覚や視覚などいろいろな刺激を利用して覚えるようにしました。

とても効果的だった インプット・アウトプット。

ゆりかさん 特にインプット・アウトプットの授業は、知識の理解と定着にとっても役に立ったと思います。互いに励まし合うチームで、良い仲間恵まれたことも良かったです。

田村氏 インプット：アウトプットとは、私も独自のカリキュラムで、自分が判らなかつた重要な問題を講師から教えて貰い理解（インプット）し、次にその内容を少人数のグループの中でメンバーに分かり易く説明（アウトプット）するという、脳が活性化する学力向上システムです。

人に教えることを前提に学習しますので、相手に分かり易く説明するために、学んだ内容を簡潔にまとめて脳にインプットする習慣がついていきます。

それをきちんとアウトプットできれば知識が定着している事の確認になります。

ゆりかさんは、何事も徹底的にきちんと理解しようとする姿勢が強く、インプット・アウトプットでも、必ず自分が理解するまで質問していました姿が印象に残っています。ですから結果的には、第一志望の昭和大学医学部に合格できたのだと思います。

ゆりかさん それから、良い先生に恵まれたことです。勉強の内容のことだけでなく、いろいろな相談にも乗ってもらいました。

数学の先生に、ある大学の数学の対策について聞いた時など、端的にわか



具志堅ゆりかさん
2015年 私立昭和薬科大学附属高等学校卒業
2016年 昭和大学医学部合格
受験勉強期間2年間(高3と浪人1年)／
メデュカパス在籍期間1年間

りやすく教えて頂き、そのアドバイスが的確で、さすがに私立医学部受験に特化していることのすごさを実感しました。

先生との距離が近く、 アドバイスの的確でした。

ゆりかさん メデュカパスは先生との距離が近いので、どんなことでもすぐに聞けたことが本当に良かったですね。

いつも、私の強みや弱みを本当に把握してくれている先生に相談にのってもらい、そのアドバイスが的確なので、すごく助かりました。

田村氏 当校の講師は私立医学部受験に特化し専門で教えているので、それぞれの生徒さんの志望校に合った適切なアドバイスができます。

また経験も豊富ですから、今受験生がどのような状況にあるのかもすべて把握して、その生徒さんの強みや弱みに沿った的確な指導ができます。それ

が少人数制の強みです。

ゆりかさんが言われるように、生徒さんとの距離がとても近いので、授業の質問や相談で職員室に頻繁に来てくれる生徒さんも大勢おられます。

実は卒業してからも職員室に遊びに来ている先輩たちも多くいて、懐かしいのか、居心地が良いのか、先生たちと楽しそうに談笑している姿をよく目にします。

卒業してからも仲の良い友達同士で交流している生徒さんも多いですね。私たちにとっても教育者冥利に尽き、嬉しいことです。

友達からは、 合格したことを驚かれました。

ゆりかさん 高校時代に私より成績が良かったのに、いまだに浪人をしている友人が、地元にはたくさんいます。ですから、私が1年間で昭和大学に合格したことに本当に驚かれました。

メデュカパスで学べたからこそ、浪人生活が一年で済んだと思っています。

両親には本当に感謝しています。体調の面でもメンタル面でもすごくサポートしてもらいました。

こんな良い環境に送り出してくれて、「がんばりなさい」と背中を押してくれた両親には本当に感謝しありません。

田村氏 実は私たちも感謝しています。普段から上京されるたびに、他の生徒さんにも、たくさんのお土産を持ってきて頂きました。試験期間中にも、たくさん差入れを頂きました。生徒さんも大喜びでした。

具志堅氏 他の生徒さんも娘と同じで、親元から離れて一人で勉強していていますので、少しでも応援できればと思いました。

医学部受験は、最後は メンタル戦だと思っています。

ゆりかさん 医学部受験は、最後はメンタル戦です。強い心を持って勝ち抜いてほしいと思います。

入試本番で普段通りの力を出すことは相当なメンタルが必要です。

完璧な状態で入試に臨める受験生は本当に一握りの人達だと思えますし、そもそも、その人達は私たちが戦う相手ではないと思っています。

本番の受験会場では本当に緊張します。物理の先生からは、いつでもどんな時でもサラサラとペンが動くようにと言われていました。それでも昭和大学を受験した時にはペンを持つ手が震えました。

普段の勉強では良い成績が取れていても本番での緊張には弱い人より、どんな状況でもコンスタントに解ける人が最後には勝てます。

合格したら大学生活は本当に楽しいです。いろいろと世界が広がり、今は本当に充実した毎日を送っています。

受験生の皆さん頑張ってください。

田村氏 久しぶりにゆりかさんとお会いできて、とても嬉しかったです。大学生活も満喫されている様子で安心しました。これからも頑張ってください。

具志堅様、ゆりかさん、本日はありがとうございました。

両国予備校の伝統を受け継ぐ、全国で唯一の予備校



MeducaPass

私立医学部受験予備校メデュカパス

お問い合わせ

TEL:03-5229-7088

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-23-8 第2三幸ビル

FAX: 03-5229-7089 <http://www.meduca-pass.org/>